

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	細見 純子 先生 (茶道の達人)	所属	裏千家
実施校	常滑市立西浦南小学校		
実施日	平成21年12月7日 (月曜日)		
実施学年・学級	5年1組 (28人)、6年1組 (18人)		
教科等名	総合的な学習の時間	単元・題材名	「一碗からピースフルネス」
授業の目標	抹茶を点てることで日本文化のよさを知るとともに、お互いを思いやる世界を築こうとする。		
授業の実際	 <p>「抹茶を点てるのは、こんな感じで」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 達人の紹介を聞く。(教師) 2 茶の歴史やもてなす心を知る。<プレゼン> (達人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の歴史や利休の茶の精神を聞く。 ・ プリントで茶の歴史を振り返る。 3 抹茶を点てて、客をもてなす。(達人・教師) <ul style="list-style-type: none"> ・ 点てる手順や注意点を聞く。 ・ 三人一組になり、茶を点て、客になる。 ・ よかった点を発表し合う。 ・ プリントに感想を書く。 4 達人の講評を聞く。(達人) 		
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を受けて、茶道をもっと知りたくなった。 ・ お茶を点てるのがすごく楽しかった。また、やりたいと思った。 ・ 今日習ったことを、お母さんやお父さんに教えたいと思った。 ・ 抹茶を点てる時、「おいしくなりますように」と心を込めた。 ・ お客と亭主の役をすることで、人をもてなし、人と和する心が大切だと分かった。 ・ この瞬間に感謝し、人との出会いを大切にしていきたい。 ・ お茶を点てて、茶の心は「和敬清寂」ということが少し分かった。 ・ 外国の人達に、もっと茶道を知ってもらいたいと思った。 		
教師の感想	<p>抹茶を点てたり、客になったりしたことで、人をもてなす心を感じとっていた。そして、達人が伝えたい「お茶の心でお互いを思いやる世界を築こう」というメッセージを自然に受け止め、実践しようという意欲が高まった。達人の熱心なご指導により、日本文化としての茶道のすばらしさに気付く児童が多くみられた。</p>		